第四次いちき串木野市行政改革大綱（案）に対する御意見及び御意見に対する市の考え方について

１　募 集 期 間　　令和２年 12 月１日（水）～　令和２年 12 月 28 日（火）　　（28 日間）
２　意見の件数　　１人（10 件）
３　意見の概要と市の考え方

番号	枝番	御　意　見　（一部抜粋）	市の考え方
1	1	過去の行政改革大綱と全く同じ内容・文言が多数あり、何を刷新・改善したいのかが不明確である。内容を見直すか、もしくは過去の大綱と同内容で向こう５年間が進むならば、その理由を序文に記載すべき。	今回のパブリックコメントの対象は、行政改革大綱（以下「大綱」という。）ですが、これは市の行政改革についての基本的な方針・方向性を示したものです。 以前の大綱と同様な表現もありますが、継続して取り組まなければならない重要な部分として捉えており、新しい大綱にも記載したところです。なお、具体的な内容については、大綱の下位計画である行政改革大綱推進計画（以下「推進計画」という。）で定めることとしております。
	2	各項目に締切り期日を設けるべき。	大綱の推進期間は、令和３年度から７年度までの５年間としており、期限は令和７年度末となります。なお、各項目の取組内容については推進計画で定めることとしております。
	3	人口減の施策が入っていないので明記すべき。	人口減少対策は重要な市政の課題であり、別途『まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定して、推進することとしています。
	4	これまでの反省点の記載をすべき。	大綱の取組状況については、毎年、推進計画の各項目のヒアリング調査を行い、評価・検証を行った後、議会及び行政改革推進委員会への報告を行っているところです。 今後においても目標達成に向けて着実に実施していくこととしています。
	5	PDCA サイクルを本質から理解すべき。（ＰＤＣＡサイクルをもとに改善点を見つけ、より具体的、時代に沿った大綱とすべき。）	
	6	前回・前々回と内容が同じにもかかわらず「第四次行政改革大綱の基本理念『管理型行政運営』から『経営型行政運営』への転換」と謳っていることに対しての目玉となる施策（改善策）が見当たらないので記載したらどうか。	今回の大綱策定の背景には、引き続き人口減少が進む中、令和２年度で市町合併の財政優遇措置が全て終了するという状況があります。 市民サービス提供に必要な財源はますます減少していくため、市民にとって真に必要な事業をこれまで以上に取捨選択し、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）で効果的に経営していくという意味で、『経営型行政運営』への転換を掲げました。

<table>
<tr><th>番号</th><th>枝番</th><th>御　意　見　（一部抜粋）</th><th>市の考え方</th></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td>1</td><td>先に記述したように、過去2回分（10年前）と同内容の項目が大部分の為、各項目が現状にマッチせずに現実味がない。具体的に明記すべき。</td><td rowspan="2">大綱は、市の行政改革についての基本的な方針・方向性を示したものです。
以前の大綱と同様な表現もありますが、継続して取り組まなければならない重要な部分として捉えており、新しい大綱にも記載したところです。なお、具体的な内容については、推進計画で定めることとしております。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>10 年前に掲げた項目をなぜ継続して掲載するのか。理由を記載すべき。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>数値目標ができる項目は目標を記載すべき。
（誘致企業数・交流人口数・広告費費用対効果数等、タイムライン、見込数等）</td><td>推進計画の中で可能なものについては定めていきたいと思います。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>1</td><td>「大綱の推進状況については、行政改革に関する各種取組の内容、状況等をいちき串木野市行政改革推進委員会及び市議会に報告した後、広く市民に公表します」とあるが、毎回『概ね計画通り』の評価のある項目が多く見受けられるが、なぜ継続しているのか、なぜ目標に達しないのか、いつ達成するのかを説明・明記すべき。</td><td>推進計画の実績については、毎年度ホームページで公開しております。
評価区分の一つである『概ね計画通り』については、「数値目標は定めていないが、推進計画に沿った取り組みが行われている」というものです。
数値目標を定めたものは、目標額に達しているものを『目標達成』、目標額に達していないものを『目標額未達成』としております。
『目標額未達成』の項目については、議会及び行政改革推進委員会で詳細に報告し、達成に向けて努力をしているところです。</td></tr>
</table>